

目次

第31回評議員会……………	1～2頁	平成26年度褒章受賞……………	6～7頁
平成26年度幹事DM合同会議……………	3頁	「一灯」・8020議連選挙結果……………	8頁
デンタルミーティング……………	4～5頁		

平成27年度予算等四議案が可決

神奈川県歯科医師連盟 平成26年度 第31回評議員会

平成27年3月5日（木）午後6時から県歯会館地階「大会議室」において平成26年度第31回評議員会が開催された。

開催に先立ち、自民党県議会議員現職および新人立候補予定者が来られ、代表として中村省司県議より4月に予定されている統一地方選挙における選挙に向かう意気込みと本連盟に対する協力要請を力強く訴える挨拶があった。

点呼後、高橋副会長の開会につづき議事録署名人には森田名君（都筑区）、岡木秀生君（茅ヶ崎）が花村議長より指名された。

高橋県歯会長からは日歯会長予備選挙結果に関する件、日歯連盟におけるマスコミ報道の顛末を冒頭に述べられた後、口腔機能管理が認知症を防ぎ咀嚼咬合の改善も認知症発症に因果関係があることを例に挙げられ、歯科医師が担う責任の重要性を強調する挨拶がなされた。

会長挨拶



先月のデンタルミーティングを開催したばかりで、又、お忙しい年度末にもかかわらず、ご出席いただきましたことに感謝の意を表し、厚労省の予算についても財務省以上に官邸主導で厳しいチェックもあり、診療報酬も我々の臨むようにはならない。そして、政府は財政健全化の対応策として「持続可能な医療保

険を構築するための国民健康保険法の一部改正案」の概要などを盛り込んだ「医療改革法案」を閣議決定した。

又、2月19日に診療報酬請求書の点検を保険者（支払い側）が全てを行う仕組みを導入することも厚労省が発表し、今後は厳しい審査となっていくと思われる。こうした状況下で何とか選択療養、選定療養、患者申出療養といった混合診療などを行うことで歯科にとって明るい将来が見えてこないかとの思いから過日、川渕孝一先生をお招きして、デンタルミーティングを開催したわけですが、今のところ歯科に関わる文言が入っていない。又、あまり報道はされてないが、「歯の予防メンテナンスを推進する株式会社（治療費保障つき予防メンテナンス業務を行おうとする会社）」の問い合わせに対して、経産省から「歯科医師が齲蝕・歯周病に罹患していないと判断した者に対する予防メンテナンスが療養給付に含まれない」と言う見解が示された。これは首相、経産大臣、厚労大臣所管の事業分野から照会に対して、産業競争力強化法の「グレーゾーン解消制度」に基づき、経産省が1月13日に回答を行ったもので、このことは健康な人への「歯の予防メンテナンスを推進する」ことを目的とする株式会社（治療費保障つき予防メンテナンス業務）の設立が可能であることを発表したものである。

歯科にとってメリットあるニュースとして、「口腔内が不潔であるとタミフルなどインフル

エンザ治療薬が効きにくくなる」と言うことを日大・口腔細菌学の落合教授が発表している。

こうした歯科医療の重要性を、健康寿命を延ばすためにも、更に歯科・医科それぞれの学会から訴え続けてもらわなければならない。

更に現在、県行政、県議会そして歯科医師会・歯科医師連盟が積極的に本県の歯及び口腔の健康推進にかかわる条例を実のあるものにするため、P Tを立ち上げ、その成果もまもなく目に見える形となる。

厚労省の基金のうち一定額を、神奈川県で獲得するために島村大先生が大いに活躍してくださり、これを有効に利用し、県民への歯科保健医療を提供するために活動している最中である。

4月の地方選挙を一つのチャンスとして、我々が県民に提供する事業を実現するように頑張りたいと思う。

評議員の先生方も、地元の推薦候補者をしっかり応援し、当選させていただきたくお願いいたします。

連盟は本会の計画する事業を効率的に具現化させるために更なる政治活動をしていく。

歯科医師会においても会長予備選挙などが目前にあるが、選挙後はしっかりと一本にまとまって前進しなければならない。と挨拶された。

報 告

国政報告として 島村大 参議院議員から来年度予算の件、今年度の医療基金の内容と現況について、今後の問題となる国保組合に対する補助金カットによる保険料の引き上げと個別指導における持参物に変更があった点（日計表の提出に法的な根拠がないこと等）が報告された。

その後、連盟報告として庶務及び事業報告を小泉常務理事、各種委員会報告を檀上、宮坂常務理事が、日歯連盟報告を徳永副会長が行い、第47回衆議院議員総選挙総括を鶴岡理事長が結果と連盟の支援状況を報告した。

議事に移り、議長を川田副議長に交代して四

議案（右下参照）についてそれぞれ執行部から趣旨説明をした後、賛成多数によりすべての議案が可決承認された。

協議では第18回統一地方選挙について鶴岡理事長より別添の資料で推薦者一覧を紹介した後、それぞれの候補者に対する連盟の支援体制を詳しく説明された。評議員からはそれぞれの地域で事情があるため地域歯科医師連盟との連携で対応することを要望されていました。

つづいて次期参議院議員比例代表選挙の対応については富田会長から日歯連盟評議員会で砂川 稔候補（千葉県歯科医師連盟会長）を職域代表として来年の参議院選挙に臨むことに決定したことを報告し、砂川候補からも「まだ始まったばかりですが、1日も早く自分の名前を覚えていただくことからはじめたい。」と決意をこめた挨拶をいただいた。是非、前回の参議院比例区選挙における職域代表の獲得した票を上回る得票を目標にしようとの声も上がった。

閉会は森副会長が述べて無事に終了した。

議 事

第1号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成26年度収入支出補正予算（案）に関する件

第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成27年度事業計画（案）に関する件

第3号議案 神奈川県歯科医師連盟平成27年度会費賦課並びに収納方法に関する件

第4号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成27年度収入支出予算（案）に関する件



挨拶する自民党県議団

第47回総選挙結果報告と次期統一地方選挙について協議

— 幹事会・DM会合同会議 —



富田会長のご挨拶

平成27年2月19日（木）午後4時30分より歯科医師会館5階「501・502研修室」にて、幹事会・DM会合同会議が行われた。北野副理事長が司会を務め、高橋副会長の開会の挨拶により開会された。富田会長の挨拶では、昨年末の第47回衆議院選挙への協力のお礼と、高木日歯連盟会長が日歯会長予備選において当選された旨を報告した。

報告では、鶴岡理事長から第47回衆議院議員総選挙についての活動報告があった。高橋副会長は日歯連盟評議員会報告を行い、砂川稔氏（前日歯連盟副理事長）が次期参院選組織代表候補者として承認されたことを報告した。

続いて、島村大参議院議員が国政報告を行い、自民党内の部会において国保組合の補助金見直しについて議論が行われたことや、神奈川県に配分される38.5億円の社会保険制度改革基金の

内容について、また、歯科口腔保健推進室の実状や個別指導時の持参物についての法的根拠などを説明され、最後に指導監査の改革はオール歯科界でなされたものであると力説された。



島村 大 参議院議員

続いて、次期参院選の組織代表候補 砂川稔日歯連盟参与が登壇し、立候補にあたっての意気込みを話された。続いて、神奈川自民党8020議連から小川久仁子神奈川県議会副議長、桐生秀昭議員、嶋村公（ただし）議員、佐藤光議員から一言ずつ挨拶をいただき、萩原鉄也伊勢原市議会議員からは次期統一選への支援のお願いがあった。

協議の中で、統一地方選挙の対応について鶴岡理事長が説明した。最後に徳永副会長が閉会を述べ散会した。



会 議 風 景



砂川 稔 次期参院選候補予定者

「混合診療」をテーマに集う 基調講演 川渕孝一 先生

平成26年度 神奈川県歯科医師連盟
デンタルミーティングINかながわ

2月19日（木）午後6時より神奈川県歯科医師会館地階「大会議室」で平成26年度県歯連盟デンタルミーティングINかながわが開催され、それに先立ち川渕孝一先生の基調講演が行われた。



講演する川渕 孝一 先生

【略 歴】

- 昭和34年8月生まれ
- 昭和58年3月 一橋大学商学部商学科卒業
- 昭和62年6月 シカゴ大学経営大学院修士課程（MBA取得）修了
- 平成元年8月 民間企業を経て厚生省国立医療・病院管理研究所 医療経済研究部勤務
- 平成10年4月 日本福祉大学経済学部経営開発学科 教授となる。
- 平成12年4月 東京医科歯科大学大学院 教授となり現在に至る。

鶴岡理事長の司会進行で始まり、開会を高橋県歯連盟副会長が宣言された後、富田県歯連盟会長より消費税アップの見送りで我々の望むべき診療報酬改定も先送りとなりました。総務省調べの子供たちのなりたい職業100には残念ながら歯科医師が入っていない。それに対してアメリカではなりたい職業のNo.1だとのことからも、我が国における歯科医療は夢が持てる職

業ではないとおもわれる。年度末には混合診療解禁となる法案が可決される見通しである。本会と連盟が一丸となって今後の難局に対応していかなければならないと挨拶があった。

続いて高橋県歯会長から県の歯とお口の健康保険条例制定にともなうプロジェクトチームが発足して超高齢社会に対応するための働きを期待したい。医療が充実していないと国の生存権まで脅かされることになる。従って医療に政治は不可欠であるので会員の協力をお願いしたい。と挨拶をされた。

引き続きご来賓の挨拶では、日歯連盟を代表して高木日歯連盟会長が冒頭に昨今、マスコミに取り上げられた「迂回献金問題」について説明をされた。本日のデンタルミーティングに関しては、講師である川渕孝一先生との今までの関わりをご披露され、本日の講演も有意義なものになることを祈念している。と言うご挨拶をされた。

また、この会に同席し、1月に次期参議院比例代表選挙組織代表候補者に決定した砂川 稔氏（千葉県歯科医師連盟会長）より力強い意気込みを感じる挨拶がなされた。

当日ご出席の来賓は石井みどり、島村 大参



砂川 稔 次期参院選候補予定者

議院議員をはじめ日歯連盟より高木会長、峰理事長、村田副理事長、鴨田副理事長、中村監事、砂川次期参議院比例代表選挙組織代表候補者、神奈川県歯科衛生士連盟から廣石会長、浦田副会長、法木理事、花岡理事、竹野理事、小泉理事、神奈川県歯科技工士連盟から角田会長、金井副会長、三好副会長、工藤理事長、白井監事らが出席された。

本日のメインとも言うべき時局講演は川渕孝一東京医科歯科大学教授による「アベノミクスと歯科医療経営～歯科における選定療養について～」と題して始められた。川渕氏は経営を専攻して修士を取得した後、民間企業から厚生省関連医療・病院管理研究所に研究員として務められ、大学に転じられてからも医療経済、医療政策、医業経営を研究されてきた。

現在のアベノミクスと国民生活を例にとりてGDPと医療費の伸びを比較して、景気変動に関係なく医療費全体は伸びてゆく一方に対し、歯科医療はGDPの伸びにほぼ一致している。又、医科との格差も広がっているとも述べられた。



コメントする石井みどり参議院議員

今、話題の混合診療については歯科に於いては旧来より保険診療と自由診療がおこなわれており特定療養費制度との併用はある意味での混合診療である。

高度先進医療を取り入れる事を主体とする評価療養と歯科特有な制度で保険診療の範囲を広げる選定療養の2つを保険診療と併用すること

が今後出てくると言われ、政府は保険導入には医療費の上昇をとまなうため、保険における診療報酬アップには消極的である以上、混合診療の分野は注目されることになると締めくくった。

続いて行われたデンタルミーティングINかながわでは、講師の川渕先生も交えて島村大参議院議員を座長に始められ、「新たな歯科医療制度と政策の選択」と題して国会議員、日歯、県歯の立場から様々な討論がなされた。



聴講する多数の会員達

石井みどり参議院議員は厚生労働委員長の立場から国の保健行政における歯科診療報酬を取り上げて、混合診療の選択は充分にありえることと肯定的見解の意見を出されていた。高木日歯連盟会長は診療報酬適正化を来期は日歯会長として訴えていくと強い意気込みで意見を述べられた。川渕先生は今後、アメリカの民間保険制度による医療給付も日本に普及することも考慮に入れていかなければならないことを付け加えておられた。

ともあれ高齢化が進み健康保険制度、年金制度も問題が多いのが現状である。これを医療にたずさわる私たちが国家戦略とどのように向き合っていくかが課題となる。と結論付けた。

最後に森副会長より閉会の言葉として「本日の講演を聴き、今後の歯科界を見直す資料としていきたい」と言い、デンタルミーティングINかながわを閉会した。

講演内容はホームページに動画にて掲載中

石井元県歯連盟会長と本連盟が栄えの受賞 日本歯科医師連盟 平成26年度褒章

日本歯科医師連盟は褒章規則第2条第三号の該当者として、平成26年度の褒章受章者を個人8名と褒章規則第2条第四号の該当団体として2団体の地域歯科医師連盟を発表した。

神奈川県では、個人として磯子歯科医師会の石井良雄先生が受賞され、また、団体としては、神奈川県歯科医師連盟が27年ぶりに受賞した。



受賞する石井先生

石井 良雄 先生（磯子）

（大正15年7月18日生 88歳）

〔功績概要〕

大学卒業後、東京都新宿区にて歯科医療・歯科医術の研鑽に努め、その後、昭和32年に横浜市磯子区において石井歯科医院を開設以来、地域住民への歯科医療及び口腔保健の向上に日夜献身的な努力をされた。同時に横浜市歯科医師会理事並びに神奈川県歯科医師会磯子歯科医師会会長の要職に就かれ、市民・県民の歯科保健向上と歯科医学医術の高揚、さらに会員福祉の

充実、地域歯科医療・保健へ貢献された。これらの保健衛生功勞により平成元年に神奈川県知事表彰を受けた。特に神奈川県歯科医師連盟においては、常務理事、会長、顧問（通算22年）を歴任し、さらには日本歯科医師連盟評議員、理事（通算5年）を歴任され斯界の発展に尽力された。この間、地域歯科医師連盟との密接な連帯関係を構築するとともに会員の政治活動に関する意識の向上を図り、本連盟の結束力を高め、歯科医師連盟の政治力拡充への礎を築かれた。また、神奈川県における国会議員、県議会議員、歯科関係団体等との多岐にわたる幅広い人間関係、信頼関係を基にして、日本歯科医師連盟推薦の参議院比例代表候補者の後援会活動、選挙活動に卓越した指導力と実行力を発揮され、連盟会員一丸となった活動を展開し候補者当選に多大なる役割を果たされた。歯科診療報酬改定や税制改正等における各議員への陳情活動においては、各議員との日頃からの良好な関係を基として、良質な歯科診療への基盤整備拡充の大切さを懇切に説明、理解を得るなど歯科界発展のため尽くされた実績は高く評価される。

神奈川県歯科医師連盟

（設立年月日・昭和27年9月5日）

〔功績概要〕

神奈川県歯科医師連盟は昭和27年9月5日の設立以来、一般社団法人神奈川県歯科医師会定款が定める県民の歯科保健向上と歯科医学医術の高揚、会員福祉の充実を実現させるため、一般社団法人神奈川県歯科医師会と緊密な連携を図り積極的に政治活動を展開している。特に近年では神奈川県政において、自民党神奈川県議

会議員との折衝により「かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟（通称8020議員連盟）」が発足され、同時に神奈川県歯科医師会、神奈川県歯科医師連盟、8020議連の三者合同で「神奈川県歯科保健・医療推進研究会」を立ち上げ、この研究会の下に歯科保健医療に関わる諸課題の解決に向け、案件ごとの各種プロジェクトチームの立ち上げにも尽力。そのプロジェクトチームの一つである「歯科保健条例制定PT」開催の積み重ねにより「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が神奈川県議会にてほ

満場一致により可決されたことは、神奈川県歯科医師連盟の政治活動の賜物といえる。このことは、都道府県歯科医師連盟の先駆的役割を担っている。一方、地方自治体選挙においては、会員である大木哲氏の神奈川県議会議員選挙、更には大和市長選挙、会員である萩原鉄也氏の伊勢原市議会議員選挙を勝ち取ることに尽力。また、国政選挙においては、石井みどり、西村まさみ両参議院議員の当選に向けて選挙活動の推進、さらには本県会員の島村大氏の参議院神奈川県選挙区選挙において、同氏の後ろ盾となり神奈川県下自民党議員及び神奈川県下会員への働き掛けを行い、結果、全国一位の得票数を得て当選された背景には神奈川県歯科医師連盟の組織力が大きな一助となっているものと確信するものである。神奈川県歯科医師連盟では、地域歯科医師連盟との緊密な連携を図り、組織力を強化することを目的として神奈川県下をブロック別に分けた地域歯科医師連盟代表者（幹事）会議を開催している。この会議では各地域の未入会者対策の情報交換、各地域選出の各種議員との関わり方（勉強会等の開催）を議題として開催し、選挙活動時以外も地域会員との関わりを重視した事業を展開。特に未入会者対策においては、若年会員を中心とした組織対策委員会を設置し、地元、同窓・校友会、スタディーグループ等の横の繋がりから歯科医師会未入会

者、連盟未入会者に対し、歯科医師会・連盟の重要性と活動意義を理解いただき入会するよう水面下の入会勧奨活動を行い、少なからず入会者増へ結びつけている。神奈川県歯科医師連盟においては、これまでに諸先輩方の努力により営々と築き上げられてきた歯科医業権を堅守し、地域歯科医療提供体制の確立、県民歯科保健・医療の向上、歯科医療の整備充実をさらに発展させ後々の世代に引き継いでいかなければならないとの使命のもと、会員が一体となり協力し合いながら歯科界に山積する諸問題解決に向け日々活動を行っている。



褒賞規則第2条第四号該当

業権の確保とその伸長を中央、地方を問わず政治的に緊密かつ強力に推進され、あるいは本連盟会員の国会議員、都道府県議会議員、同各種委員会委員、地方自治体の首長等に関する日常の政治活動が長期にわたって活発であり、その成績が優秀なる都道府県歯科医師連盟。

県議、横浜市議共に当選



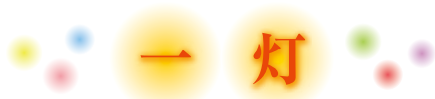
島村 大 議員の秘書であった 田中 信次 氏（写真左）が神奈川県議会選挙で横浜市泉区から出馬し、見事に票数25,763票を獲得して初当選をはたした。

また、横浜市議選挙では、島村 大 議員の診療所スタッフをしている伏見 幸枝 氏（写真右）も横浜市戸塚区より出馬して、初当選を果たした。

二人ともに自民党より公認候補として出馬し、お忙しい中を菅官房長官の肝いりで応援に駆け付けていただき、多数の票を獲得することができた。

今後の県議会、市議会に大いに期待しよう。





生活保護者には後発薬品促進、市販薬品は保険医療から除外といった、医療費削減のニュース、そして歯科の矯正治療やインプラント治療については特定商取引に関する法律の規制対象になるといったものから、「尿一滴でがん判別」（九州大学）、「敗血症に新治療法」（神奈川県立がんセンター）という明るいニュースも日々新聞に報道される。過日、読売新聞に「味覚障害はまず耳鼻咽喉科に行き、治療を」という記事があったが、味覚は主に舌の味蕾によって司られるものであり、厳しい医科とのやり取りはあるが、歯科がこの領域に踏み込む必要がある。高齢社会、

咀嚼だけではなく、味わう楽しみもきちんと提供して差し上げねばならない。大学等の研究機関等に加え、4月に新たに立ち上がった「国立医療研究開発機構」などにも歯科医師免許を有するメンバーがいないのは寂しい。医科はメディカル・シンドロームから、県医師会はロコモティブ・シンドロームへ。日歯大久保会長は8020と共に、高齢化に伴いオーラル・フレイルを取り上げている。ここには味覚が当然含まれるものと考え、日歯・日歯連盟は政府に働きかけていく。

統一地方選挙前半では、応援した候補が当選でき、県、市町村のいわゆる「歯・口腔の健康推進条例」に基づいた事業も、加速させていかねばならない。そうした、目に見える効果を示すことが連盟の使命であると思う。

(文責 富田 篤)

第18回統一地方選挙（県議会議員選挙）8020議連当選者一覧表

(平成27年4月13日現在)

No.	地 域	役 職	議 員 氏 名	年 齢
1	中 区	幹 事	原 聡祐	45
2	西 区	会 員	かとう 元弥	48
3	港 南	副幹事長	桐生 秀昭	64
4	磯 子	幹 事	新井 絹世	46
5	金沢区	会 員	国吉 一夫	69
6	保土ヶ谷	会 員	高橋 栄一郎	45
7	旭 区	会計 事務局長	磯本 桂太郎	52
8	戸 塚	副会長	松田 良昭	58
9	神奈川区	会 員	梅沢 裕之	57
10	港 北	副幹事長	嶋村 ただし	58
11	緑 区	会 員	柳下 剛	51
12	青葉区	会 員	小島 健一	52
13		幹 事	内田みほこ	45
14	都筑区	幹 事	敷田 博昭	46
15	川崎市	会 員	杉山 信雄	57
16		会 員	田中 徳一郎	34
17		幹 事	小川 久仁子	62
18		監 事	持田 文男	63

No.	地 域	役 職	議 員 氏 名	年 齢
19	川崎市	会 員	土井 隆典	55
20	横須賀市	会 員	竹内 英明	63
21		副会長	牧島 功	70
22	鎌倉市	会 長	中村 省司	69
23	藤沢市	会 員	国松 誠	53
24	大和市	会 員	藤代 優也	43
25	茅ヶ崎	幹事長	佐藤 光	45
26	平 塚	会 員	森 正明	53
27	厚 木	副会長	堀江 則之	71
28		会 員	山口 貴裕	42
29	海老名市	会 員	長田 進治	49
30	相模原市	会 員	八木 大二郎	51
31		会 員	河本 文雄	58
32		会 員	細谷 政幸	57
33	秦 野 伊勢原	顧 問	久保寺 邦夫	78
34		会 員	渡辺 紀之	44
35	足 柄	会 員	杉本 透	60